

法人企業景気予測調査結果 高知県の概要

令和 5 年 4～6 月期調査

目 次

調 査 要 領	1
1. 企 業 の 景 況	2
2. 従 業 員 数	3
3. 売 上 高	4
4. 経 常 利 益	4
5. 設 備 投 資	4
6. 資 料 編	5

(1)判断調査項目BSI表(原数値)

(2)今年度における設備投資のスタンス

(3)今年度における資金調達方法

財務省四国財務局
高知財務事務所

調査要領

1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく一般統計調査として内閣府と財務省が共管で実施。

2. 調査対象の範囲

高知県に所在する資本金、出資金又は基金(以下、資本金という)1千万円以上の法人企業。
(「電気・ガス・水道」及び「金融、保険」は資本金1億円以上)

3. 調査対象企業数及び回収状況

高知県の調査対象企業数及び回収状況は次のとおり

	調査企業数 (社)	回答企業数 (社)	回収率 (%)
製造業	37	36	97.3
非製造業	62	58	93.5
合計	99	94	94.9

4. 調査時点

令和5年5月15日

5. 調査対象期間(時点)

- ・判断項目：現状(令和5年4～6月期及び6月末)
見通し(令和5年7～9月期及び9月末、令和5年10～12月期及び12月末)
- ・計数項目：令和5年度

6. 調査方法

調査票による郵送またはオンライン調査(自計記入による)

7. 参考

BSI(Business Survey Index)は、前期と比較した「上昇」又は「下降」等の変化方向別の回答社数の構成比から、先行きの経済動向を予測する方法である。

例「企業の景況」の場合

前期と比べて

「上昇」と回答した企業の構成比…40.0%

「不変」と回答した企業の構成比…25.0%

「下降」と回答した企業の構成比…30.0%

「不明」と回答した企業の構成比…5.0%

BSI=(「上昇」と回答した企業の構成比40.0%)－

(「下降」と回答した企業の構成比30.0%)=10.0%ポイント

1. 企業の景況

現状4～6月期は、全産業で5.3%ポイントの「上昇」超となっており、「上昇」超に転じている。業種別にみると、製造業は「下降」超幅が縮小し、非製造業は「上昇」超に転じている。

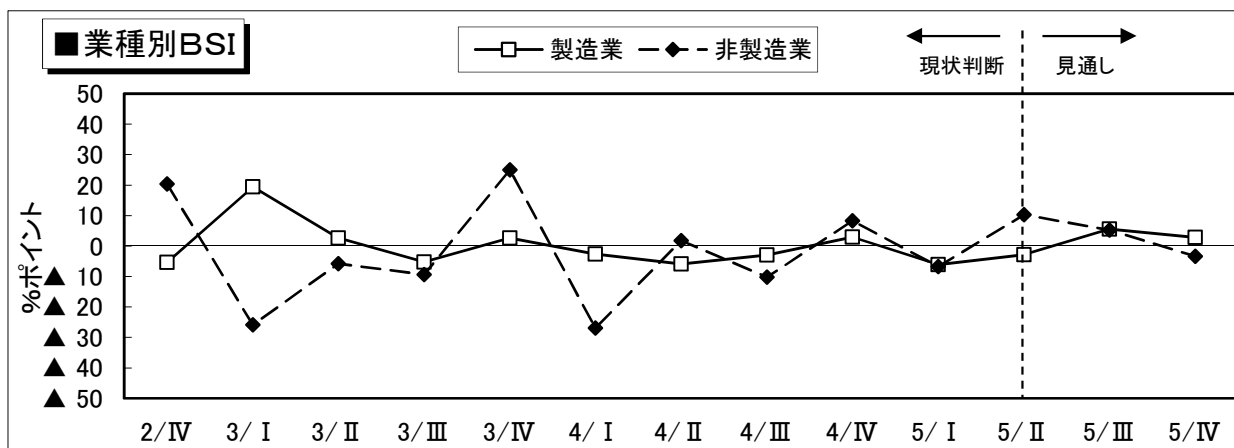
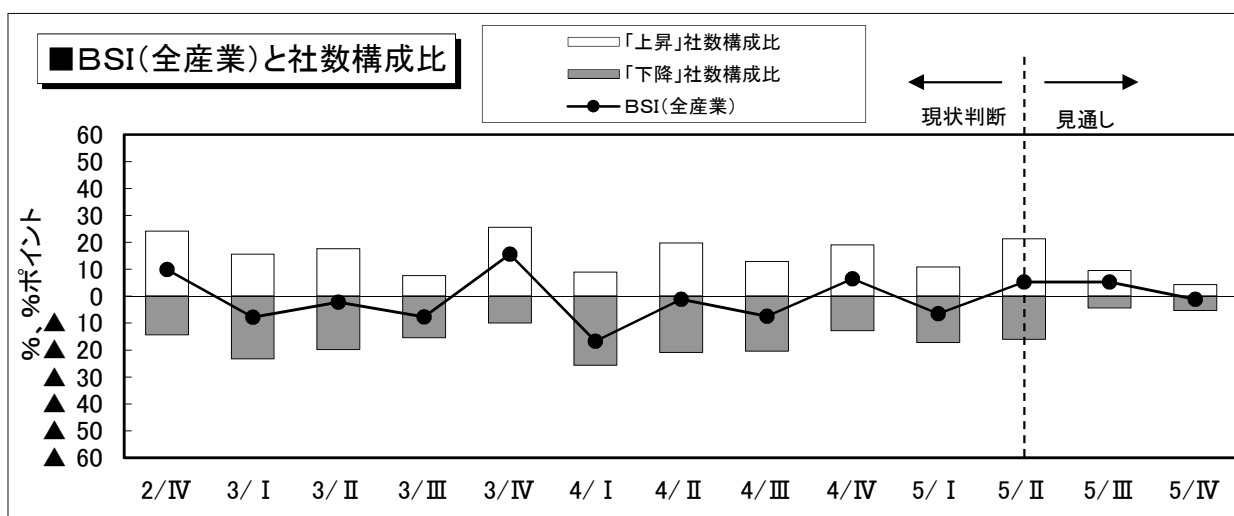
先行きについて全産業でみると、7～9月期は「上昇」超幅が横ばいで推移し、10～12月期は「下降」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断 BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)〔原数値〕

(単位:%ポイント)

区分	5年1～3月 前回調査	5年4～6月 現状判断	5年7～9月 見通し	5年10～12月 見通し
全産業	▲ 6.5	(▲ 4.3) 5.3	(1.1) 5.3	▲ 1.1
製造業	▲ 6.1	(▲ 6.1) ▲ 2.8	(3.0) 5.6	2.8
非製造業	▲ 6.7	(▲ 3.3) 10.3	(0.0) 5.2	▲ 3.4

(注) ()書きは前回調査時の見通し



2. 従業員数

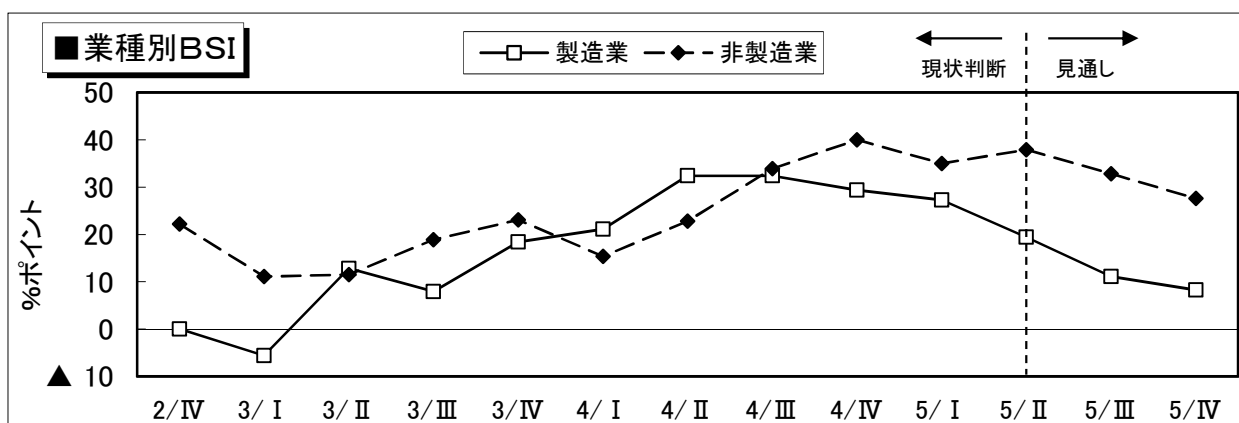
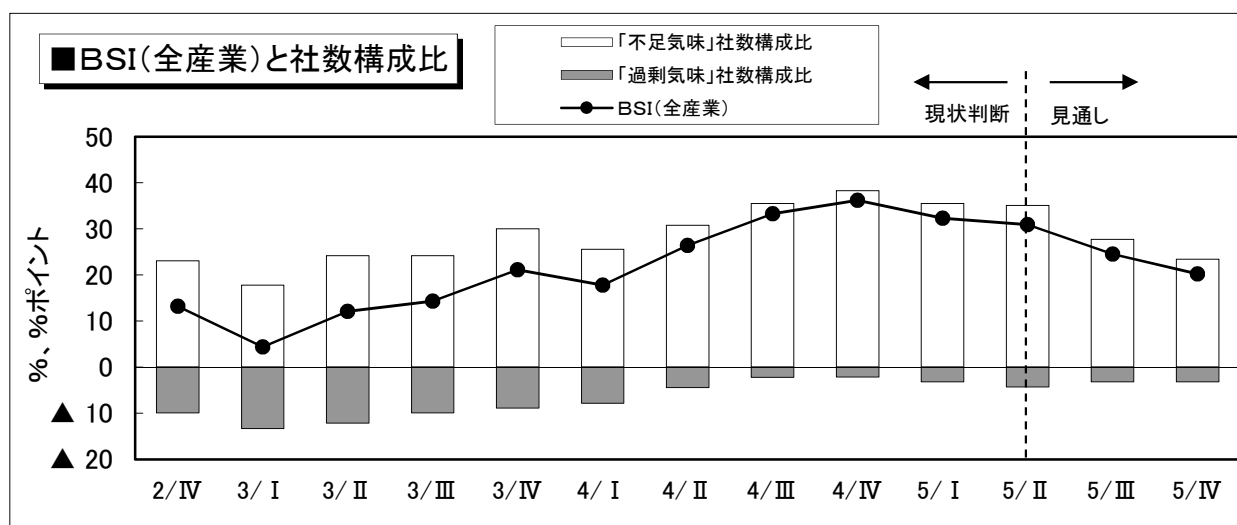
現状6月末時点は、全産業で30.9%ポイントの「不足気味」超となっており、「不足気味」超幅が縮小している。業種別にみると、製造業は「不足気味」超幅が縮小し、非製造業は「不足気味」超幅が拡大している。

先行きについて全産業でみると、9月末、12月末ともに「不足気味」超幅が縮小する見通しとなっている。

従業員数判断 BSI(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)〔原数値〕
(単位:%ポイント)

区 分	5年3月末 前回調査	5年6月末 現状判断	5年9月末 見通し	5年12月末 見通し
全産業	32.3	(30.1) 30.9	(24.7) 24.5	20.2
製造業	27.3	(30.3) 19.4	(18.2) 11.1	8.3
非製造業	35.0	(30.0) 37.9	(28.3) 32.8	27.6

(注) ()書きは前回調査時の見通し



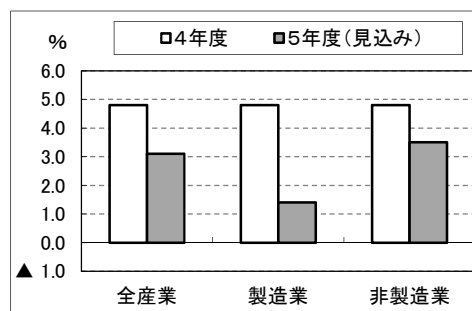
3. 売上高

5年度は、全産業で3.1%の増収見込みとなっている。
業種別にみると、製造業は1.4%、非製造業は3.5%の増収見込みとなっている。

売上高(前年度比増減率)

(単位:%)

区 分	4年度	5年度
全 産 業	4.8	3.1
製 造 業	4.8	1.4
非 製 造 業	4.8	3.5



(注1)「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く県内に本店が所在する企業

(注2)4年度は5年1~3月期調査の結果

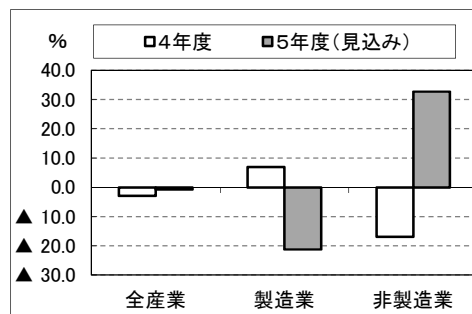
4. 経常利益

5年度は、全産業で0.8%の減益見込みとなっている。
業種別にみると、製造業で21.3%の減益見込み、非製造業で32.7%の増益見込みとなっている。

経常利益(前年度比増減率)

(単位:%)

区 分	4年度	5年度
全 産 業	▲ 3.0	▲ 0.8
製 造 業	6.9	▲ 21.3
非 製 造 業	▲ 16.6	32.7



(注1)「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く県内に本店が所在する企業

(注2)4年度は5年1~3月期調査の結果

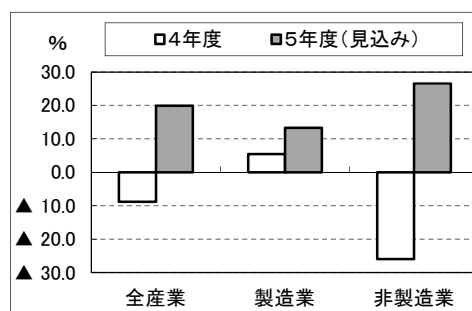
5. 設備投資

5年度は、全産業で19.9%の増加見込みとなっている。
業種別にみると、製造業で13.3%の増加見込み、非製造業で26.6%の増加見込みとなっている。

設備投資(前年度比増減率)

(単位:%)

区 分	4年度	5年度
全 産 業	▲ 8.8	19.9
製 造 業	5.5	13.3
非 製 造 業	▲ 25.9	26.6



(注1)土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む

(注2)4年度は5年1~3月期調査の結果

6. 資料編

(1) 判断調査項目BSI表(原数値)

業種別 項目別	全産業			製造業			非製造業		
	5年 4～6月	7～9月	10～12月	5年 4～6月	7～9月	10～12月	5年 4～6月	7～9月	10～12月
①企業の景況 「上昇」-「下降」	5.3	5.3	▲ 1.1	▲ 2.8	5.6	2.8	10.3	5.2	▲ 3.4
②国内の景況 「上昇」-「下降」	16.7	13.6	6.1	0.0	14.8	11.1	28.2	12.8	2.6
③※生産・販売など のための設備 「不足」-「過大」	▲ 1.5	0.0	1.5	▲ 3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
④※従業員数 「不足気味」- 「過剰気味」	30.9	24.5	20.2	19.4	11.1	8.3	37.9	32.8	27.6

(注)※は期末判断項目

(2) 今年度における設備投資のスタンス

業種別 項目別	全産業		製造業		非製造業	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
生産(販売)能力の拡大	49.2%	3	59.3%	2	42.1%	4
製(商)品・サービスの質的向上	35.4%	5	29.6%	5	39.5%	5
情報化への対応	43.1%	4	37.0%	4	47.4%	3
省力化合理化	50.8%	2	48.1%	3	52.6%	2
環境対策	13.8%	6	11.1%	8	15.8%	6
海外投資	0.0%		0.0%		0.0%	
研究開発	10.8%	7	18.5%	6	5.3%	8
新事業への進出	10.8%	7	14.8%	7	7.9%	7
維持更新	61.5%	①	63.0%	①	60.5%	①
その他	3.1%	9	0.0%		5.3%	8

(3) 今年度における資金調達方法

業種別 項目別	全産業		製造業		非製造業	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
民間金融機関	80.0%	①	85.2%	①	75.8%	①
公的機関	40.0%	3	51.9%	3	30.3%	4
株式の発行	0.0%		0.0%		0.0%	
社債の発行	0.0%		0.0%		0.0%	
リース	25.0%	4	14.8%	4	33.3%	3
企業間信用	13.3%	5	11.1%	5	15.2%	5
資産の売却	6.7%	6	11.1%	5	3.0%	6
資産の流動化・証券化	3.3%	7	3.7%	7	3.0%	6
内部資金	56.7%	2	59.3%	2	54.5%	2
その他	0.0%		0.0%		0.0%	

お問い合わせは

TEL (088)822-9177

総務課 (内線710)又は

財務課 (内線720) へ